

# 冷蔵庫の中から地球が見える



挿絵は消費者庁提供

一人ひとりが「もったいない」という意識を持ち、暮らしの中ですこし工夫をすることによって、食品のムダを減らすことができます。食料自給率が40%を切り、輸入食品や加工食品が増えている今こそ、「ムダなく暮らす」取り組みについて、考えてみませんか。

**日時** 平成27年2月28日(土)

午後1時30分～3時30分(開場 午後1時～)

**会場** 市立図書館 大集会室

(中央区鹿沼台2-13-1 JR横浜線淵野辺駅南口徒歩3分)

うえむら きょうこ

**講師** 上村 協子さん

(東京家政学院大学副学長・現代生活学部現代家政学科教授)



**定員** 100名(申込順)

**参加費** 無料

**申込** 2月2日(月)から  
電話で相模原市生活安全課へ

☎042-769-8229

保育をご希望の方は、申込時にご相談ください。



主催：暮らしを考えるつどい相模原実行委員会



## 講師プロフィール



# 上村 協子 (うえむら きょうこ) さん



熊本県熊本市出身。お茶の水女子大学家政学部家庭経営学科卒業、お茶の水女子大学大学院家政学研究科修士課程修了。

相模原市消費生活審議会会長、

平成 25 年度消費者庁食品ロス削減に関する意見交換会座長

現在、東京家政学院大学副学長・家政学部長、東京家政学院大学現代生活学部教授、文部科学省消費者教育推進委員会委員、金融広報中央委員会委員、東京都消費生活対策審議会委員、東京都千代田区消費生活連絡協議会委員。

専門分野は生活経営学、家庭経済学、生活設計論。

生活経済学会理事、国際ジェンダー学会理事。

主な著作

- ・「暮らしをつくりかえる 生活経営力」朝倉書店（共著、2010年）
- ・「規制改革と家庭経済の再構築」建帛社（共著、2007年）
- ・「若手研究者が読む『家政学原論』」家政教育社（共著、2006年）
- ・「生活の動態と経営」日本放送出版協会（共著、2005年）
- ・「新版 家政学事典」朝倉書店（共著、2004年）
- ・「相続にみる女性と財産」科学研究費報告書（単著、2003年）
- ・「多様化するライフスタイルと家計」建帛社（共著、2002年）
- ・「現代社会の生活経営」光生館（共著、2001年）
- ・「財産・共同性・ジェンダー」東京女性財団（共著、1998年）